取り組み

JNP（Japanese Nurse Practitioner：診療看護師）活動報告

花山　美帆
Miho Hanayama

NHO　旭川医療センター　統括診療部　診療看護師

はじめましての方も、そうでない方も改めまして。診療看護師の花山と申します。早いもので、この旭川医療センターに就業して１年が経とうとしています。初めての役職として突然やって来た、この私を受け入れて下さった事、診療看護師の活動について紹介・報告させて頂ける事に感謝申し上げます。

まずJNPとは？これは国立病院機構独自の呼び方になります。米国では約50年前に医師不足を解消する目的でNP（Nurse Practitioner）が制度化されました。日本でも団塊世代が後期高齢者となる2025年に向け、チーム医療の推進という目的で、2015年10月から『特定行為に係る看護師の研修制度』を開始しました。

必要な医療サービスをタイムリーに患者さんへ提供するため、難易度の高い診療の補助行為を安全・確実に実施するための研修体制を整え、「手順書（プロトコール）」により医師の包括的指示の下で特定医行為を行える看護師を育てる制度です。
今回、私は制度化される前に東京医療保健大学大学院で医学的知識や特定行為となる技術、臨床推論などを学んで来ました。

動脈穿刺採血や胸腔ドレーン抜去など21項目38行為が、現時点で医師の包括的指示の下で行える特定行為です。その他、診断に必要な検査の選択や実施なども医師と一緒に考えさせて頂いています。また、研修期間中である現在はCVカテーテル留置や腹腔穿刺など、38行為以外の処置も医師の直接的指示の下で実践、経験させて頂いています。

さて、これまで記述した内容だと患者さんには、よく分からないと思います。なので、私は「看護師なんですが勉強をして来て、今は医師の仕事の一部を一緒にさせて頂いています。」と簡単な説明をしています。これに対し患者さんは「あら、そうなの？よろしくね。」と詳しくは質問してきません。分かってくれたのか？いや…そうではない、と思います。なぜなら「これからお医者さんになるんでしょ？」「あら先生。」などと後々話されるからです。ちょっと残念な気もしますが、今は医師の下で研修医の方々と同じように研修を受けているので、これ以上の事を上手く説明できません。これからの自分の活動で理解を深めてもらえるように努力したいと思っています。

先ほども述べましたが、実際に私がどのように活動しているのか？今は指導医の下で主に医師寄りの業務をさせて頂いています。例えば、動脈穿刺採血や腹水穿刺などがあります。動脈穿刺採血が必要である患者さんの場合、その理由を考え、結果を見て、患者さんが今どのような状態にあるのかを再度考え、どんな治療を選択すると良いのか。腹水穿刺であれば、同じように穿刺が必要な理由を考え、どの部位からアプロー

花山　美帆　　NHO 旭川医療センター　統括診療部
〒070-8644 北海道旭川市花咲町７丁目4048番地
Phone: 0166-51-3161, Fax: 0166-53-9184　　E mail: myomyo302@asahikawa.hosp.go.jp

チすれば、患者さんにとって安全で確実に実施できるかなどです。また、採血オーダーや処方についても医師の承認を得て行わせて頂いています。

この１年間、呼吸器内科２ヶ月から始まり外科３か月、脳神経内科２ヶ月、消化器内科２ヶ月と、全ての病棟を回らせて頂きました。１月からは１ヶ月ずつ透析室や超音波検査室、訪問診療の勉強をさせて頂いています。各指導医の先生の下で研修を受け、これから私はどのような活動をすべきなのか今、模索している状況です。どこで活動していくのかは、まだ決められませんが、１つだけ言える事があります。それは『便利屋』になる事です。医師の考えを理解し、同じ方向を向いて患者さんや看護師・多職種へ情報を伝え最良の医療を提供する事。そして医師が忙しい時、タイムリーに患者さんの状態を把握、看護師と協力し必要な検査のオーダーや指示を実践する事。患者さんや看護師の思いを医師へ伝えていく事。自分自身が経験した、医師と看護師の考え方の違いなどによる「ちょっとした溝」を埋めていく事です。なんだかカッコ良い事言っちゃいましたが、大雑把に言ってしまえば、なんでも屋のような存在になってみようと考えています。ですが、やるからには、なんでも知っていなければなりません。

大学院は２年間という短い期間でしたから、医学的知識は医師に比べ圧倒的に不足しています。そのため、今は研修を受けながら足りない知識を補足しつつ勉強している状態です。これからも引き続き看護師としての経験と、新たに学んだ医学的知識や技術を併せて少しでも『便利屋』として活動して行きたいと思います。時代の変化に伴って看護師の業務拡大が検討され、看護師にも高度な医療に対する知識が求められるようになりました。その期待に答えることができ、必要とされるような JNP を目指して今後も取り組んで行きたいと考えています。

JNP の活動はこれからがスタートです。いずれ仲間が増える事を期待しながら…後から来る人のためにも、ちゃんと道を作っていかなければと感じています。そのためには様々な方達のご理解・ご協力が必要となります。色々とご迷惑もおかけすると思いますが、今後ともご指導よろしくお願いします。

最後になりますが、「ウチの科においでよ」と言ってくれる先生・看護師さん、心よりお待ちしております。

拙い文章で申し訳ありません。最後まで読んで頂きありがとうございました。